

# 9月の緊急救急当番医はつぎのとおりです（変更になる場合があります）

江別市 診療時間は各病院へお問合せください。						岩見沢市内の緊急救急当番医について	
日	曜日	《内科系》		《小児科系》		《外科系》	
5	土	-	-	-	-	深和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	※岩見沢市内の緊急救急当番医は ①岩見沢医師会のホームページ ②新篠津消防署 ☎0126-57-2034 ③新篠津村役場（当直）☎0126-57-2111 で直接ご確認ください。
6	日	野幌病院 野幌町5-3 ☎011-382-3483	おおあさ鈴木ファミリークリニック 大森町3番地 ☎011-386-5303	大森町3番地 ☎011-386-5303	深和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	
12	土	-	-	-	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111	
13	日	おらかみ内科クリニック 大森町7番6号 ☎011-387-1555	-	-	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111	
19	土	-	-	-	-	江別市立院 若草町6 ☎011-382-5151	救急安心センターさっぽろについて
20	日	江別市立院 若草町6 ☎011-382-5151	江別市立院 若草町6 ☎011-382-5151	江別市立院 若草町6 ☎011-382-5151	江別市立院 若草町6 ☎011-382-5151	江別市立院 若草町6 ☎011-382-5151	
21	祝	内科循環器科白樺通りクリニック 野幌若草町40-11 ☎011-383-7111	ウルトラ内科小児科クリニック 大森町11-9 ☎011-688-8801	大森町11-9 ☎011-688-8801	深和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	※急な病気やケガで、救急車を呼ぶか、医療機関を受診すべきか迷ったときは、救急安心センターへお電話をしてください。受付員や看護師が症状に応じて、119番への転送や医療機関の受診案内、応急手当などの助言を行います。（24時間365日利用できます）
22	祝	ささなみ内科クリニック 野幌町66-2 ☎011-382-3373	-	-	深和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	
23	祝	高橋内科医院三番通りクリニック 大森町32-1 ☎011-387-7788	松尾こどもクリニック 高砂町25-11 ☎011-384-8819	高砂町25-11 ☎011-384-8819	深和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111	
26	土	-	-	-	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111	
27	日	アウル内科クリニック 東野幌本町2-18 ☎011-383-3456	-	-	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111	



## #7119

救急安心センターさっぽろ

または 011-272-7119

## 「局地的大雨から身を守るために」

夏になると発達した積乱雲が現れます。積乱雲は、高さ十数km、水平方向の広がりも数km～十数kmの雨雲です。30分から1時間程で衰弱してしましますが、短い時間で狭い地域に、バケツをひっくり返したような雨を降らせることがあります。

積乱雲による、このような雨を「局地的大雨」と言います。

局地的大雨では、雨水が集まる川や下水管、周囲より低い土地などでは、急激に水かさが増える、浸水するなどして、わずか十数分で危険な状態になる場合があります。テレビやラジオで「大気の状態が不安定です」などのコメントがあった場合には局地的大雨の可能性もあります。

局地的大雨による災害から身を守るために、次のことに注意してください。

■自分が住んでいる場所、今いる場所にどんな危険があるかを知る。

- ・周囲より低い土地で水が集まってくることはないか。
- ・河原などで急に水かさが増すことはないか。
- ・過去に水害が起きていないか。

■最新の気象情報を確認し、空や川の変化の様子も観察する。

- ・雷注意報が発表されているときは要注意。
- ・真っ黒い雲が近づき周りが急に暗くなる。雷鳴が聞こえる、雷光が見える、大粒の雨やひょうが降り出すなどは、積乱雲が発達している証拠です。
- ・川の水かさが増える、濁る、落ち葉や流木が流れてくるなどは、上流で大雨となっている証拠です。

■気象情報や周囲の様子で危険を感じたら、迅速に危険を避ける行動をとる。

- ・川の中やそばにいるときは、すぐに川から離れる。
- ・地下室や地下の工事現場などにいるときは、水が集まるおそれがあるため、すぐに地上へ移動する。
- ・アンダーパス等、水の集まりやすい場所には近づかない。

●問合せ先／札幌管区気象台天気相談所 ☎011-611-0170